

平成30年度

# コレクション展示作品目録

## 展示室3・4・5

### 展示室3 現代の美術Ⅱ 2018年7月7日(土)～8月26日(日)

この展示室では、当館の現代美術コレクションより、建物や人物、静物など具象的なモチーフを扱った作品をご紹介します。

絵画は長い歴史を持ち、20世紀には抽象画をはじめ様々な試みがなされる舞台となりましたが、現代においても私たちの想像力を刺激し、感覚を解き放つような新しい表現が生まれ続けています。野又穫は、細部の構造にまでリアリティを追求して空想の建造物を描き出し、大岩オスカルは日常の生活空間を舞台に現実の傍らにあり得るかもしれない架空の世界を出現させます。一方、青木世一と福田美蘭は、ともに20世紀絵画の先駆者セザンヌの作品そのものを題材に、その表現手法の革新性を浮かび上がらせています。

有名な鑑真の肖像彫刻を、分厚い鉄板を切り抜いてシルエットで表した長沢英俊の作品は、鉄の物質的存在感と同時に鑑真の深い精神性を伝えます。奈良時代、唐から日本に帰化した僧侶の姿は、今年3月に亡くなるまで長くイタリア、ミラノを拠点に活動を続けた長沢自身にも重ね合わされます。

そのほか、2000年代の日本における多様な表現をお楽しみください。

No.	作者名	(生没年)	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
1	野又 穫	(1955- )	視線の変遷-12	2004	アクリル・カンヴァス	227.5×145.6	寄託作品
2			来たるべき場所-5	1996	アクリル・カンヴァス	162.2×97.2	寄託作品
3			内なる眺め-22	2001	アクリル・カンヴァス	194.2×97.1	寄託作品
4	大岩オスカル	(1965- )	シャドウキャットとライトラビットの 出会い 2	1999	油彩・カンヴァス	227×222	寄託作品
5			ポストモダン建築(ブラックマー ケット)	2005	油彩・カンヴァス	227×222	寄託作品
6			Loft	2006	油彩・カンヴァス	140×280	寄託作品
7	小野さおり	(1981- )	モノガタリノアト	2010	油彩・カンヴァス(2点組)	各145.5×145.5	群馬青年ビエンナーレ 2010 大賞
8	鴻池朋子	(1960- )	あたらしいほね	2016	牛革、ミクストメディア	170×150×5	寄託作品
9	ましもゆき	(1984- )	永劫の雨	2009	インク・紙、パネル	182×182	寄託作品
10	青木世一	(1954- )	セザンヌ・キット	1997	アクリル・シナベニヤ合板	198×150×149	
11	福田美蘭	(1963- )	リンゴとオレンジ	2000	デジタグラフ印刷、油性マジック・布、額	94.3×113.3	
12			道頓堀	2001	アクリル・パネル、蝶番	227.2×181.8	
13	長沢英俊	(1940-2018)	鑑真	1975	鉄	175×123×43	寄託作品
14	加藤 泉	(1969- )	Untitled	2017	木、ソフトヴィニル、アクリル	128×24×32	寄託作品
15	榎本浩子	(1986- )	話したくないこと 英語の勉強 布団を干す	2013-15	ミクストメディア、映像(13分 7秒)	サイズ可変	群馬青年ビエンナーレ 2015 大賞